

坑内での長期使用後に  
P.C.S. (カナダ、サスカチュワン州) から回収した、エドウィン・  
ロウ・リミテッドのカートリッジを組み込んだ  
ローラーに関する試験報告

ローラーの仕様 -

外径 6 インチ X 直径 30 mm のシャフト -

エドウィン・ロウ・リミテッドの 6306/30 mm 成形カートリッジを組み込み

- 1993 年 10 月納品

サスカチュワン州のポタッシュ社

P.O.NO. (ファイル上)

プロジェクト番号 (ファイル上)

1995 年 4 月

(ファイル上の顧客名)

## 試験手順

当該ローラーの設計においてシャフトを取り外せるようにするために、各ローラーシェルを2つにカットしました。

シャフトを取り外した後、ベアリングとシールをエンドベル内に固定している6つのロッキングディデントを取り外すために、プレートを保持している外側鋼板シールに隣接するエンドキャップを加工しました。6つのディデントを取り外した後、ベアリング/シールアセンブリをエンドベルハウジングから取り外しました。

検査手順で以下が観察結果が確認されました。

1. 各ローラーの両端で T.I.R. を計測し、測定結果を記録しました。結果は、T.I.R が 0.015 インチ（低）～0.035 インチ（高）の範囲内に収まりました。
2. 各ローラーは、つかえたり動きにくかったりすることなく自由に回転していました。
3. プレートを保持する外側鋼板シールを取り外した後、プレートの内径に微量の異物が付着しているのが観察されました。同定するには少なすぎる量でした。  
（この領域は、シーリング材の外側です。）
4. トリプルリップシールを取り外しました。ベアリングに隣接するシール空洞とトリプルリップにグリースを充填しました。
5. リップからグリースを除去したところ、目視でも、指の間のグリースを触って確かめたところでも、汚染は認められませんでした。
6. シール空洞から取り出したグリースの観察結果も同様でした。
7. ベアリングは自由に回転し、清浄で適正な濃度のグリースで良好に充填されていました。

## 結論

私見では、当該ローラーは非常に良好な状態で、何年にも渡って良好に機能したことでしょう。

以上。

(ファイル上の名前)

本部長

エンジニアリングシステムグループ